

第8章

推進方策



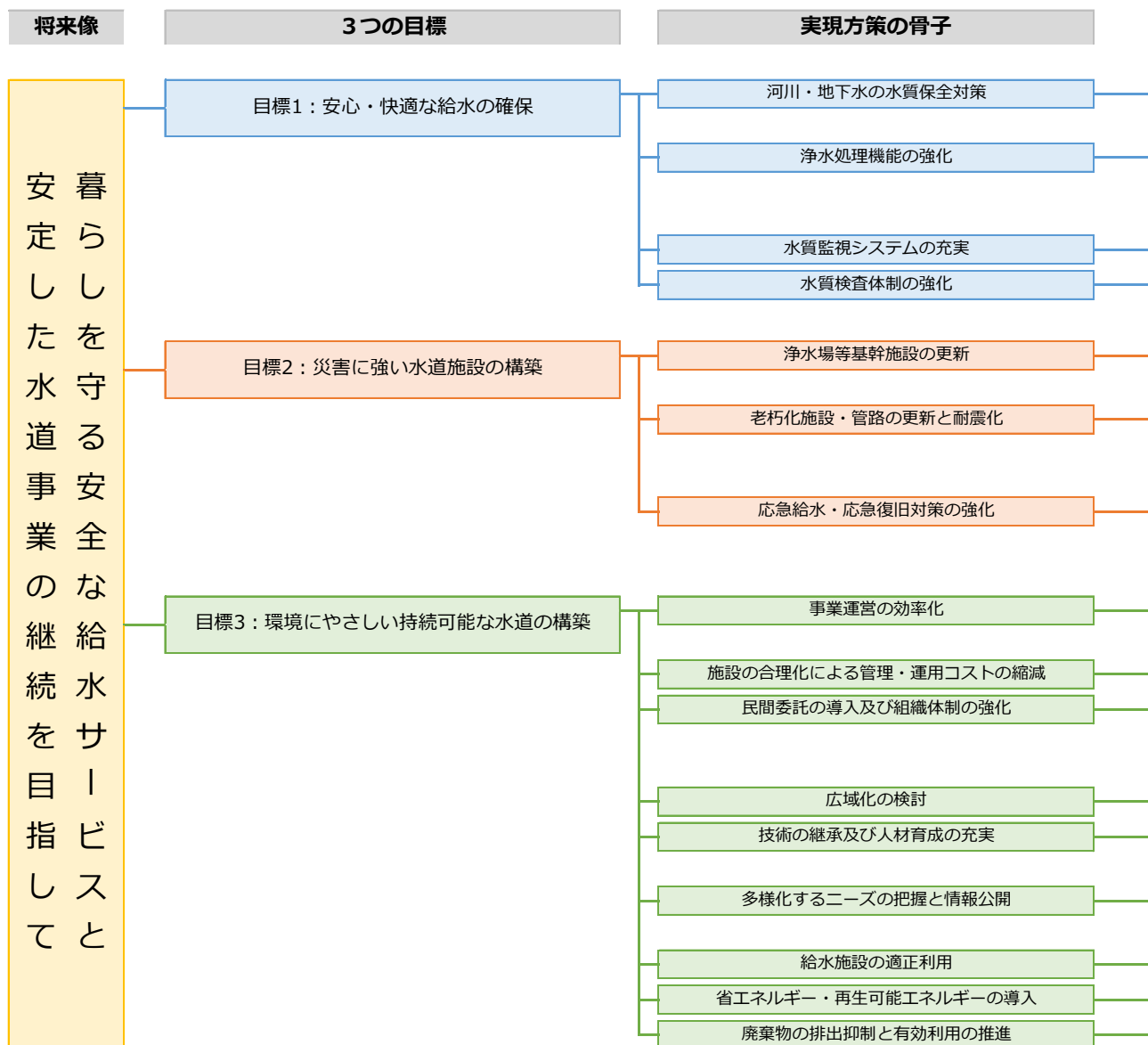
第8章 推進方策

今回の弘前市水道ビジョンで掲げた将来像の実現に向けては、計画に盛り込んだ実現方策（具体的な取り組み）を合理的かつ着実に推進していくため、進捗状況をチェックするとともに見直しを図りながら、目標の達成を図ります。



8.1. 実現方策の進捗状況のチェック

実現方策（具体的な取り組み）ごとに目標となる指標を設定し、進捗状況をチェックします。



具体的な取り組み	目標となる指標	指標値		
		H30 実績	R6 中間	R11 目標
水安全計画の確かな運用 水源水質保全に関する啓発	水安全計画の検証・見直し	毎年度実施		
	樋の口浄水場見学会の実施	毎年度実施		
樋の口浄水場の更新による浄水処理機能の強化 浄水処理施設の適切な運転管理 残留塩素濃度の適正管理	樋の口浄水場の更新	R8年度供用開始		
	水質基準適合率 (%)	100	100	100
	平均残留塩素濃度 (mg/L)	0.35	0.35	0.35
水質監視機器の充実・更新	水質監視機器更新率 (%)	100	100	100
水質検査機器の更新・充実 水質検査精度の維持・向上	水質検査機器更新率 (%)	100	100	100
	外部精度管理調査適合率 (%)	100	100	100
樋の口浄水場の更新 浄水施設・配水施設・ポンプ場における機械・電気設備の更新	浄水施設の耐震化率 (%)	15.5	15.5	94.0
	機械・電気設備更新率 (%)	45.1	55.8	67.5
耐震化配水池への緊急遮断弁の設置 老朽管及び主要管路の更新・耐震化	緊急遮断弁の設置率 (%)	55.6	66.7	77.8
	基幹管路の更新基準年数超過老朽管率 (%)	6.2	7.5	0
	基幹管路の耐震化率 (%)	33.1	42.6	48.4
水道総合危機管理マニュアルの見直し 応急給水用資機材の整備充実 官民連携による機動的な危機管理体制・人員確保方策の構築	水道総合危機管理マニュアルの充実	R3年度までに策定		
	応急給水用資機材の充実	R3年度までに配備		
	災害時における官民連携手法の検討	R6年度までに策定		
計画的な資産管理による企業債依存度の抑制 水道料金体系の検討	給水収益に対する企業債残高の割合 (%)	426.1	558.7	431.9
	水道料金体系の見直し	R7年度までに見直し		
施設統廃合の推進、施設のダウンサイジング	施設利用率 (%)	50.5	53.5	68.6
施設管理業務の包括的民間委託の継続、拡充 窓口受付業務の民間委託の継続、拡充 官民連携を視野に入れた組織体制の検討、部門別専門職員の適正配置	施設管理業務の包括的民間委託の拡充検討	契約更新に合わせ拡充検討		
	窓口受付業務の民間委託の拡充検討	契約更新に合わせ拡充検討		
	組織体制の点検	毎年度実施		
広域的業務運営の検討	青森県水道広域化推進プラン策定への協力	R4年度までに策定		
職員研修や訓練等への積極的な参加 管理マニュアルの作成	外部研修時間 (時間/人)	6.6	6.6	6.6
	管理マニュアルの検証・見直し	毎年度実施		
双方向型のコミュニケーションの充実 お客様アンケートの実施	水道事業のPR活動の実施	毎年度実施		
	お客様アンケートの実施	毎年度実施		
貯水槽水道の管理指導の徹底	貯水槽水道設置者への是正回数 (回/年)	0	0	0
夜間電力の活用検討	夜間電力の導入	R7年度までに見直し		
浄水発生土の有効利用	浄水発生土の有効利用率 (%)	100	100	100



8.2. 弘前市水道ビジョンのフォローアップ

弘前市水道ビジョンは、令和2年度から令和11年度までの10年間を計画年度としていますが、その間、水道事業を取り巻く環境も大きく変化していくことが予想されるため、定期的（概ね3～5年）なフォローアップが必要と考えられます。

フォローアップについては、PDCAサイクルの考え方に基づき、実現方策の検証及び評価、新たな方策の検討等を行い、弘前市水道ビジョンの推進や改善を図っていきます。

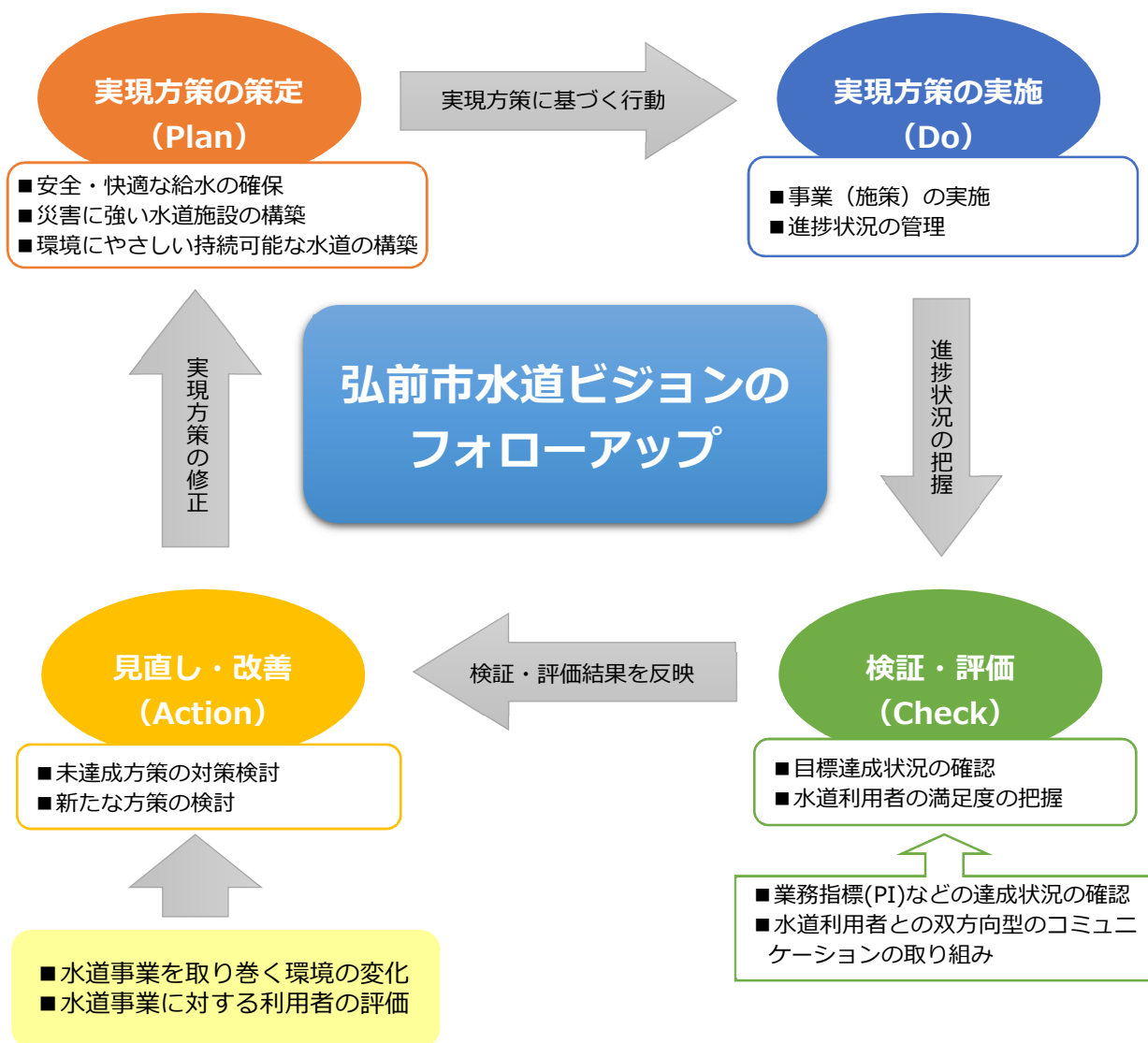


図 59 弘前市水道ビジョンのフォローアップ